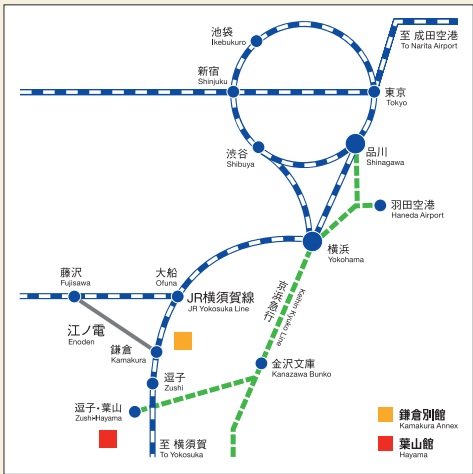




《風》1948年 油彩、カンヴァス 東京藝術大学蔵

観覧料：一般1,000円／20歳未満・学生850円／
65歳以上500円／高校生100円

- * 中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。
- * 「生誕110年 香月泰男展」の観覧券で、同日に限りコレクション展「内なる風景」をご覧いただけます。
- * ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日：10月3日、11月7日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同日の会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」は中止いたします。
- * その他の割引につきましてはお問い合わせください。
- * ご来館に際しての最新情報は、美術館ウェブサイトをご覧ください。



新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い

- 発熱や体調不良がある方、過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触、入国制限や入国後の観察期間が必要な国・地域への訪問歴または当該在住者との濃厚接触がある方は、ご来館をお控えください。
- 入館時に手指を消毒し、マスクを着用してください(着用が推奨されない乳幼児や障害者へはご配慮をお願いします)。
- 混雑状況により、入場制限を行う場合があります。

同時開催：コレクション展「内なる風景」(展示室4)

梅原龍三郎、野見山峯治など香月泰男と親交のあった作家の作品を当館コレクションから紹介します。また、シベリア抑留体験をもつ澤田哲郎と宮崎進、戦争に向き合い、命を削るように描いた松本竣介や鬘光、過酷な従軍生活をもとに自己の心の痛みにとどまらない複雑な表現を展開した浜田知明らを取り上げ、それぞれの忘れえぬ記憶をつなぎます。

KAZUKI Yasuo: A Retrospective

葉山館への交通案内

電車とバス：JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)、または京浜急行「逗子・葉山」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「逗11、12系統(海岸回り)」で「三ヶ丘(さんがおか)・神奈川県立近代美術館前」で下車(所要約20分)。
車：横浜横須賀道路逗子インターチェンジ、または横須賀インターチェンジからそれぞれ7-8km。

葉山館駐車場(有料)のご案内

営業時間：午前8時30分～午後6時(入庫は午後4時30分まで)
駐車料金(1時間/追加は30分毎に加算)：普通車400円、大型車1,200円
* 企画展「生誕110年 香月泰男展」の観覧券をお持ちの方は1時間無料です。
* レストランやショップで2,000円以上ご利用いただいた方は、1時間無料(併用で最大2時間無料)となります。
* 貸切バス等(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の事前予約および前道路の通行許可申請が15日前までに必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。Tel.046-875-2800

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
2208-1 Isshiki, Hayama, Kanagawa, 240-0111
Tel.046-875-2800 Fax.046-875-2968
http://www.moma.pref.kanagawa.jp

@ KanagawaMoMA



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館

ふと顔をあげると、
東天の闇について太陽がのぼる。
それは一瞬疲労も寒さも忘れさせる
美しいものであった。

生誕110年 香月泰男展



《青の太陽》1969年 油彩、方解末、木炭、カンヴァス 山口県立美術館蔵 *シベリア・シリーズ

2021年
9月18日(土)ー11月14日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日：月曜日(9月20日は開館)

神奈川県立近代美術館 葉山 展示室1-3
The Museum of Modern Art, Hayama

主催：神奈川県立近代美術館 監修：山口県立美術館、香月泰男美術館 企画協力：一般社団法人インディペンデント

KAZUKI Yasuo: A Retrospective

I 1931-49

逆光のなかのファンタジー
Fantasy in Backlight

太平洋戦争とシベリア抑留の体験を描いたシベリア・シリーズで、戦後洋画史に確固たる地位を築いた香月泰男(1911-74)。

東京美術学校(現・東京藝術大学)で油彩を学び、ファン・ゴッホや梅原龍三郎などの先達にならいながら自身の画風を模索しました。従軍とシベリア抑留を経て復員した1947年以降は、折に触れて大陸での体験を主題に制作しましたが、一方で台所の食材や庭の草花など身の回りのモチーフも色彩豊かに描きました。1950年代前半には色彩と形態、材料における試行錯誤を繰り返し、その後到達した黒色と黄土色の重厚な画風で、太平洋戦争とシベリア抑留の体験を描き「シベリアの画家」としての評価を確立します。

本展では、シベリア・シリーズ全57点を含む、東京美術学校時代から最晩年までの各年代の代表作を制作年順に紹介します。一大叙事詩として読み取られることの多いシベリア・シリーズを解体し、同時期に制作された他の作品と併せてご覧いただくことで、同シリーズの位置づけを再検証し、香月の芸術の多彩な魅力に迫ります。

II 1950-58

新たな造形をもとめて
In Search of New Representations

《鷹》
1958年
油彩、方解末、木炭、カンヴァス
山口県立美術館蔵
＊シベリア・シリーズ



《水鏡》
1942年
油彩、カンヴァス
東京国立近代美術館蔵



《雨〈牛〉》
1947年
油彩、カンヴァス
山口県立美術館蔵
＊シベリア・シリーズ

《電車の中の手》
1953年
油彩、カンヴァス
香月泰男美術館蔵



III 1959-68

シベリア・シリーズの画家
The Artist of the Siberia Series

《洗濯》
1965年頃
油彩、方解末、木炭、カンヴァス
香月泰男美術館蔵

《復員〈タラップ〉》
1967年
油彩、方解末、木炭、カンヴァス
山口県立美術館蔵
＊シベリア・シリーズ



IV 1969-74

新たな展開の予感
Signs of Further Development



《日本海》
1972年
油彩、方解末、木炭、カンヴァス
山口県立美術館蔵
＊シベリア・シリーズ

《公園雪》
1971年
油彩、方解末、カンヴァス
島川美術館蔵



生誕110年— 香月泰男展

[かづき やすお 略歴]

1911年10月25日、現在の山口県長門市三隅に生まれる。1931年、東京美術学校(現・東京藝術大学)油画科に入学。1934年、第9回国画会に《雪降りの山陰風景》が初入選。1936年、東京美術学校を卒業し、美術教師として北海道に赴任する。1939年、第3回文部省美術展覧会に《兎》を出品し、特選となる。1942年、召集令状を受け翌年に入隊。満州国に動員される。戦後、シベリアで抑留生活を送る。1947年に帰国、後のシベリア・シリーズ第一作目となる《雨〈牛〉》を制作する。1948年、国画会に復帰。1951年、第1回サンパウロ・ビエンナーレに参加。1953年、初の回顧展を開催。1956年から翌年にかけてヨーロッパを旅行。1950年代後半から1960年代にかけて後にシベリア・シリーズと呼ばれる作品群を制作する。1967年、画集『シベリヤ』(求龍堂)を刊行。同年、神奈川県立近代美術館の鎌倉館で「香月泰男 高山辰雄展」を開催。1970年、『私のシベリヤ』(文藝春秋)、翌年、新潮社から『シベリヤ画集』、『海拉爾通信』を刊行。1974年3月8日、心筋梗塞のため三隅の自宅にて62歳で死去。